



みずいろ通信

Vol. 15

2023年
1月発行



新年あけましておめでとうございます。コロナ禍での3度目のお正月となりましたが、みなさまどんなお正月を過ごされましたか？最近公園や屋外ではマスクを外して元気に遊んでいる子どもたちを見かけるようになりました。子どもたちの笑顔を見て安心するとともに元気ももらっています。今年度も引き続きいろいろな方々と協力しながら、相談会や啓発活動をしていきたいと思ひます。

どうぞ本年もよろしくお願ひいたします。



新しい家族のカタチ 3回連続講座 場所：難波市民学習センターにて開催
10月20日（木）14時～16時 はじめよう！週末里親！

主催：大阪市立難波市民学習センター、里親支援機関「結い」、大阪市こども相談センター

『はじめよう！週末里親！』をテーマにして、週末里親のことを広く知ってもらうために、実施しました。里親支援専門相談員（4S）から週末里親の制度説明や乳児院、児童養護施設の説明を行い、実際に週末里親をされている2組の方に体験談を話してもらいました。インタビュー形式で行い、週末里親を始められた動機や、実際に始められてからのエピソードなどをスクリーンに映し、施設と週末里親さんと連携しながら子どもを見守る大切さなど話していただきました。最後に週末里親としてのやりがいや子どもへの想いを語って頂き、これから週末里親をされる方たちへ熱いメッセージになればいいなと思ひました。



「クレオフェスタ」で里親啓発活動を行いました！場所：クレオ中央大阪
11月19日（土）10:00～16:00



クレオ大阪中央フェスタにて里親啓発活動を行いました。会場内は沢山の来客さんで大賑わいでした。小さなお子様づれの方から高齢の方まで年齢層も幅広く来られており、風船や里親のチラシをたくさんの方に受け取っていただくことができました。また、展示している里親パネルに興味を持たれ、足をとめて見ておられる方もいました。まずは『里親』について知っていただくところから！という思いで地道に継続した啓発活動ができればなと思ひます。



里親登録前施設実習を受けて ～乳児院では～

登録前研修が終わられた方は、乳児院か児童養護施設で実習を受けます。
今回も里親登録前研修を終えられたご夫婦が、当乳児院で朝から夕方まで2日間乳
幼児と触れ合っていました。

初日の赤ちゃんクラスでは、抱き方を一生懸命聞きながら、恐る恐る赤ちゃんを
抱っこし、腕の中で気持ち良そうに寝入っていく赤ちゃんを愛おしそうに見つめて
いました。

また研修内容を思い出し、体験談のお話の内容を思い出されながら、「こういう気持ちってことなんだね、明日か
らの仕事も頑張れる！」とご夫婦で話されていました。

「血縁関係なく愛せるのか、と正直不安がゼロではなかったけど、実際に会って関わると、そんな事どうでも良いと
思えるほど愛おしく感じた」と仰っていたのが印象的でした。家庭と施設の違いを、物理的にも理解され学ばれた
2日間で、私たち職員もそういったご意見や思いを聞く事ができ、とても嬉しく感じました。



四恩みろく乳児院

里親登録前施設実習を受けて ～児童養護施設では～

コロナ感染者数の増加が一旦落ち着いたころ、私の働く児童養護施設でも里親登録前施設実習が再開されました。
当施設では、幼児ユニットで実習していただくことが多く、2日間で2・3歳児、4・5歳児の2ユニットを体験
していただきます。

2・3歳児はただただ可愛く、里親実習の方に寄っていく子どもはよく可愛がられます。
お膝に座って一緒にテレビを観たり、絵本を読んでもらったり、普段大人のお膝の独り占めはめったにないチャン
スなので、実習中は取り合いです。

日中の少しの時間ですが、全てのことにおいて手助けが必要な年齢だけに、実習を終えた方からは「ずっと何かに
気を付けていないといけませんね」「子どもの相手ってこんなに疲れるんですね」などの感想をお聞きます。

一方、4・5歳児ユニットは、身辺自立ができていく児童が多いこともあり、手助けはほどほどですが、他の子と
のおもちゃや、大人の取り合い、座る場所ひとつとっても、子どもの成長と共に育つ思いが噛み合わずトラブルに
なることが多いです。

また、一緒に遊ぶのも大人側の「本気」を試してくるのもこの頃で、実習を終えると「ほんとに子どもは元気です
ね」「体力をつけないと」と感じられることが多いようです。



結局、子ども相手は**気力体力勝負**という事なのですね。

とはいえ、へとへとになるまで子どもと向き合い、本気で一緒に遊び、語ってもらえる
時間は、子どもにとっても楽しい時間になっているのではないかと感じます。

これからも施設実習を通して、施設を知ってもらい、そこで暮らす子どもの理解を深め
て、里親として活躍されるときに糧にさせていただけることを期待しています。

高津学園

「あなたの愛の手を」※の取材を受けて ～素敵な出会いがありますように…～

乳児院、児童養護施設で暮らす子どもたちの中には特別養子縁組を希望する子どもたちがいます。子どもたちに素敵なお縁がありますようにと、先日「あなたの愛の手を」の取材を受けました。職員はかわいい写真を撮ってもらおうと、Aくんの好きなおもちゃをたくさん準備して撮影に臨みます。人見知りでなかなか普段の柔らかい表情を見せてくれないAくんでしたが、最後の最後に飛び切りの笑顔を見せてくれて撮影が無事終了しました。里親さんとの素敵なお縁がありますように…

※公益社団法人 家庭養護促進協会が色々な事情で親が育てられない子どもたちを、毎日新聞の協力のもと、毎週日曜日の朝刊「あなたの愛の手を」で紹介し、子どもたちの里親を募集する記事。

特別養子縁組里親の実習 ～初回面会～

特別養子縁組希望の里親さんが初めて子どもと出会うのが初回面会です。この初回面会の日を待ちに待った里親さん、緊張の中その時を迎えます。「泣かれないかな…」「緊張してドキドキがとまらないです…」「昨日は興奮して眠れなかったです」「言葉にならないです」など様々な感想をおっしゃられます。出会った瞬間、感極まって涙を流される方もおられます。この感動の瞬間に立ち会える事は4Sとしてもとてもうれしく思います。



今後のイベント情報

【地域で支えあおう～さとおやっとなあに?～】

令和5年2月18日(土) 13:30～15:30・相談会あり・参加費無料

大阪市立男女共同参画センター南部館 クレオ大阪南 **定員 20名** ▶要申込(2月4日まで)

主催：大阪市南部里親支援機関 mikata 保育あり

【週末里親相談会 ～週末さとおやっとなあに～】

令和5年2月25日(土) 14:00～16:00 参加費無料

大阪市西区民センター(3階 第4会議室) **定員 30名** ▶要申込(2月15日まで)

主催：一般社団法人 大阪市児童福祉施設連盟 里親支援委員会



● 編集後記 ●

新年がスタートしました。

コロナの終息にはまだまだ時間がかかりそうですが、啓発活動、実習、研修等取り組んでまいります。本年もよろしくお願いいたします。

(黒田・吉迫・竹友・井上)



お問い合わせ先

一般社団法人 大阪市児童福祉施設連盟
里親支援委員会(事務局：聖家族の家)
06-6699-7221 担当：(萱津・松本)